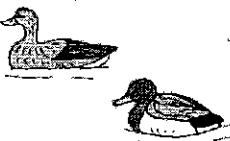


12/19(金) まじ! 倫理号です。先週の日曜日に松立城のススム(恒例)に参加しました。壁の上、柳の上にある木造のススム。そして日は見えない木戸にも積もる。

今週の倫理 904号 心のすす掃いも一諸の心 2014.12.20~12.26

丁度さまで、感謝申し上げます。一年の総い倫理本誌
していきたいと思います!

草せ道 アホ、鳥



え・小島サエキチ

十一月のテーマ 締めくくり

月

日を刻んで年末を迎えると
すす掃い、大掃除が行なわ
れます。一年の汚れを落とし、新
しい年を迎える準備です。

しかし、掃わなければならない
すすは、目に見えないとこにも
積もっているのではないでしょう
か。心のすす掃いも大切です。

私たちが学ぶ純粹倫理は、心の
持ち方を大切にします。なぜなら、
心の持ち方と物事の成否が繋がっ
ているからです。

卑近な例でいえば、不足不満を
抱えて、イライラした気持ちで仕
事に臨んでもうまくいかないばかり
か、危険な状況を招きかねませ
ん。自動車の運転などはその最た
るものでしよう。

とりわけ、恐れ、怒り、悲し

み、ねたみ、不足不満の心、それ

はただに、一切の病気の原因にな
つてはいるだけではない。生活を不幸
にし、事業を不振にするもとであ
り、己の不幸をまねく根本原因で
あることを知らぬ。(丸山敏雄著
『万人幸福の栄』第十六条より)

私たちは、神ならぬ人間ですか

ら、こうした心が日常のなかで湧
き上がってくるものです。それを
どう切り替えるかが重要です。
それはすなわち、マイナスの心、

そのもとにある自分のエゴを捨て
ることにほかなりません。これが

心のすす掃いにつながるのです。
一年を振り返ってみれば、不足
不満など、マイナスの感情が何度

湧き起こったことでしょう。それ
はもう、数え切れないくらいかも
しません。

それらの多くは、自分の思い通
りにならなかつたことから起こつ
てくるものです。しかし、後から
思い返してみると、そうした状況
から学ぶこともあつたのではないか
でしょうか。

当初の計画通りには行かなかつ
た、会社として大きな損害をこう
むつた、社員間でトラブルが起き
た、こうした表層だけを見れば、
不足不満も起ころうでしょう。

しかし、後から心静かに振り返
る時、少なからずメリットもあつ
たはずです。その失敗から、日常
では得がたい教訓を学んだ社員も

いるでしょう。平穡無事に過ごし
ている時には気がつかなかつた社
内の課題や無駄を発見できたかも
しれません。

長い目で見れば思い通りにいか
ることにほかなりません。これが
心のすす掃いにつながるのです。
現象ばかりでなく、人に対しても、
物に対してもまず、感謝の心を向
けることが大切だとわかります。
特に、つい責めたり嫌つたりし
てしまつた対象には、心中でし
つかりとお詫びをして、お陰様と
いう心に切り替えていくことです。
責め心も、嫌う心も、何も生み出
さないばかりか、人を傷つけ、物
の働きを奪うものだからです。

大掃除や年末のあいさつ回りも、
こうした心で取り組むのと、そう
ではないのでは、その後が大きく違
つてくるでしょう。

感謝とお詫びの心で一年をしつ
かりと総括して、万全の状態で新
年を迎える準備をしたいものです。